



学校通信

令和7年10月20日
伊勢崎市立第二中学校 No.10

令和7年度 第1回学校評価の結果報告

7月にご協力いただきました「第1回学校評価アンケート」を参考にして、学校評価の羅針盤を基に評価した結果をご報告させていただきます。アンケート集計結果及び自由記述でいただいたご意見を真摯に受け止め、今後の教育活動に生かして参ります。

I 保護者との連携

①学校は、生徒の様子を保護者へ連絡し、理解を得ている。

A 評価

②学校は、相談や連絡がしやすい。

B 評価

- ・学校通信や学年通信等の各種通信、さらには各種お便りのメールでの配信が定着しました。一部紙面での配付も継続していますが、保護者の方に各種通信や配付物を確実に配信し確認していただいていることが評価されたと考えています。また、通信等は生徒玄関に数部置いてありますので、必要な場合は持ち帰りください。
- ・担任だけでなく、学年職員、養護教諭、管理職、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーも加え二中全職員で対応させていただいております。心配事等がございましたら電話での連絡だけでなく、来校いただき遠慮なくご相談ください。

II 確かな学力

③生徒は、授業で「わかった」「できた」を味わうことができている。

A 評価

④生徒は、基礎的・基本的な学習内容が身に付いている。

A 評価

⑤学校は、生徒の学力を適切に評価し、指導の工夫改善に生かしている。

B 評価

⑥学校は、生徒のよさやがんばりを認め、賞賛している。

A 評価

⑦生徒は、自主的に家庭学習をする習慣が身についている。

B 評価↑

- ・本校では全職員が教科の魅力を伝え、主体的に学び合う授業をめざし、ICT機器を利活用しながら自他の考えを交流させる授業の工夫改善に努めています。今後も、生徒たちの興味関心を引き出しながら協働した学びの中で、基礎基本となる学習内容の定着を図っていきます。
- ・④の回答では生徒と、保護者や教職員との評価に大きな隔たりがあります。また、向上はしていますが評価の低い設問が⑦でした。学習したことを確実に定着させるためにも反復練習や家庭学習が欠かせません。今後も、PUタイムの活用や定期テスト前のチャレンジ50への取組、また、自分にとって必要な課題に毎日取り組む自主学習「ウイングノート」、基礎基本を繰り返し学ぶタブレットでのeライブラリーを用いた家庭学習に継続的計画的に取り組めるよう学校でも支援を継続していきます。ご家庭でも話題にいただき、生徒への激励をお願いします。

III 豊かな心

⑧生徒は、学校や地域で進んであいさつをしている。

A 評価

⑨生徒は、時や場・相手に応じた適切な言葉づかいができている。

A 評価

⑩生徒は、楽しく学校生活を送っている。

A 評価

⑪学校は、いじめ防止や早期発見に取り組んでいる。

A 評価↑

⑫生徒は、友達をいじめたり仲間はずれにしたりしないようにしている。

A 評価

⑬生徒は、生徒主体のいじめ防止活動に積極的に参加している。

B 評価

⑭生徒は、相手の立場や気持ちを考えて行動している。

A 評価

⑮生徒は、きまりや約束を守って生活している。

A 評価

⑯生徒が規律ある学校生活が送れるよう、積極的な指導や共通の実践を行っている。 B 評価

- ・登校指導や道徳、学級活動を中心に教育活動全体を通じて、あいさつや適切な言葉使い、規則正しい生活が身に付けられよう支援していきます。ご家庭での支援もお願いいたします。
- ・人との交流を軸とした学習活動の中で思いやりの心を育み、いじめは絶対に許さないという強い

姿勢でアンケートや日々の様子把握から、いじめの未然防止と早期発見、早期対応に努めています。また、生徒のよさを認め、自己肯定感、自己有用感を育む支援を心掛けていきます。ご心配なことがありましたら直ちにご相談ください。

IV 健康・体力に関すること

- ⑰生徒は、朝食をきちんと食べている。 **A 評価**
⑱生徒は、少なくとも7時間程度の時間睡眠が取れている。 **A 評価↑**
⑲健康で体力のある体を作ろうとする生徒が育っている。 **A 評価**
⑳学校は、部活動ガイドラインに則して活動している。 **A 評価**

・適切な睡眠や食事は生活習慣の安定に欠かせない要因です。学習効果を高めるためにも適切な睡眠時間が大切であることはよく知られています。スマホ使用により睡眠時間が削られないようご家庭でもご指導いただき、学校でも保健や学級活動等を通して、適切な生活習慣の重要性を伝えていきます。
・ケガの未然防止に努めるとともに「部活動ガイドライン」、「WBGT による部活動時の注意事項と二中の熱中症対策」に則り、保護者の協力も得ながら、今後も適切に活動していきます。

V 安全確保・施設設備

- ㉑学校は、避難訓練や交通指導等、安全確保に向けた取り組みをしている。 **A 評価**
㉒生徒は、交通ルール（一時停止、一列走行など）を守って自転車を運転している。 **B 評価↓**
㉓スマホ、SNS やインターネットの使い方について生徒と約束をしている。 **A 評価↑**

・自転車の乗り方やヘルメット着用については、地域の方から改善を要望する情報をいただくことがあります。また、交通事故は命に関わる重大な問題です、交通安全に対する意識を高めるために繰り返しの指導と生徒に考えさせ実行できる安全教育を継続していきます。

VI 進路・生き方

- ㉔生徒は、将来どんなことをしたいか、どんな人になりたいか考えている。 **B 評価**
㉕学校は、将来の夢や希望、進路について親子で話し合う働きかけをしている。 **B 評価**

・1年での職業調べ学習、2年での職場体験学習、3年では高校オープンスクールへの参加や、講師を招いた進路や生き方に関する学習を行っています。進路に関する情報を適宜提供しながら今後も生徒が自らの生き方について考える機会になるようなキャリア教育を行って参ります。

VII 保護者自由記述から（抜粋）

○学習・授業関係

・定期テストの日程等について。

→定期テストは、年度末に学校行事や中体連行事等を見ながら策定しています。年間の授業時数を確保することもあり現状での定期テストの日程となっています。来年度に向けての準備も始まっていますが、授業時数確保を踏まえつつ期末テストの3日間実施も検討していきます。「ウイングノート」への取組やテスト前の補習などを通して、学校でも家庭でも生徒が自主的に学習に取り組めるよう支援を継続していき、余裕をもってテストに臨めるようにします。

○学校生活について

・校則について。

→本年度も全校生徒による校則についての話し合いを行いました。各学級で出された意見を生徒会本部役員会で確認していき、生徒たちに伝達していきます。これからも、全校生徒に学校の決まりについて考えてもらう機会を設け、寄せられた意見をもとに、生徒たちにとって、より良い校則になるよう見直しを継続していきたいと考えています。

○生徒指導について

・いじめへの対応について

→定期的にいじめ防止基本方針を確認し、行動内容を職員間で共有し、適切な対応にあたります。保護者の方々と連携し生徒の成長に繋がる支援・指導になるよう今後も努めて参ります。また、円滑な学校生活が送れるように様々な場面で継続的に生徒たちを見守っていきます。

※その他、生徒が活躍する場の均等化など様々なご意見や励ましのお言葉をいただきました。これらのご意見を真摯に受けとめ教育活動を行っていきたいと考えております。今後ご理解ご協力をお願いいたします。